



愛媛医療センター 地域医療連携室だより 67号

特集

- 特集① 地域医療連携交流会
- 特集② 共同医療機器利用
- 特集③ 地域医療機関への訪問
- 特集④ 地域イベントへの参加



ごあいさつ

日頃より地域医療連携にご協力いただき誠にありがとうございます。
当センターでは、地域の医療機関の皆さまと共に患者さんのより良い医療を支えるため、医療機関の共同利用や心不全治療の地域連携を行っています。また、地域イベントへの参加も行っています。今号では、これらの取り組みについてご紹介します。



特集・ 地域医療連携交流会開催



平素より、当院の地域医療連携にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。
当院では、地域の医療関係者の皆様とのつながりを深めることを目的に、毎年交流会を開催しています。今年度は9月26日（金）に第13回地域医療連携交流会を開催いたしました。

地域からは60名を超える医師、看護師、コメディカルスタッフなど多くの皆様にご参加いただき、院外関係者を含めて総勢93名のご参加がありました。舩田院長の開会挨拶のあと、伊東地域医療連携室室長より各診療医師、各部門職場長の紹介が行われました。また、交流会を通して、当院の現状や取り組みについて知っていただく機会となり、多くの意見交換が行われました。医療機関同士の交流を深めることで、顔の見える関係づくりが広がっていくことを実感しました。

地域医療連携は地域の患者さんに、その時必要な医療を提供するため機能しています。地域の医療機関の皆さまと共に、患者さんを支え合える医療体制づくりができればと考えています。今後も顔の見える関係を大切に地域医療連携を進めてまいります。



舩田病院長の挨拶



特集②地域と共に進める 「医療機器共同利用」



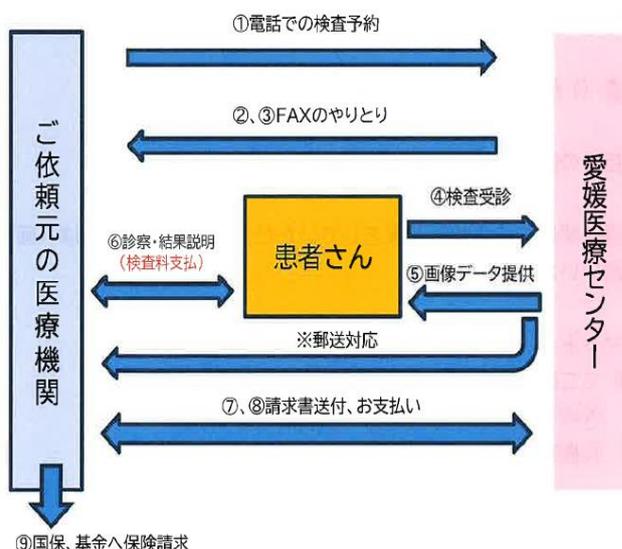
愛媛医療センターの医療機器共同利用について

医療機器共同利用とは、当院が保有している医療機器を、地域の開業医の方々にも利用していただくシステムです。検査のみの患者さんは、検査終了後はそのままご帰宅いただけますので、患者さんの待ち時間を大幅に短縮できるメリットがあります。

対象となる医療機器は MRI・骨密度検査です。検査後、画像データと結果を患者さんに持ち帰りいただく場合と、後日紹介元医療機関へ郵送する場合をお選びいただけます。

患者さんはかかりつけの医療機関の先生より結果の説明を受けることが可能となります。

利用可能な検査	装置名称	特徴と用途
MRI	GE ヘルスケア・ジャパン社製 SIGNA Creator 1.5 テスラ	装置特徴 光デジタル伝送技術によりノイズを大幅に削減し、従来のMRI に比べ、高画質化が可能になりました。また、補正技術 PROPELLER 3.0 により体動による影響が少ない 主な検査部位 脳・脊椎（脊髄）・腹部（肝臓、脾臓、腎臓など）・骨盤部（前立腺、子宮、卵巣など） 骨軟部（肩、股関節、膝、他関節など）
骨密度測定	CALNEO Dual DXA（FujiFilm 製）	二重 X 線吸収法（DXA）は骨粗鬆症の診断には最適な測定法です。 CALNEO Dual DXA は DXA 専用装置が不要で、既存撮影装置と組み合わせて使用します。 1Shot で、腰椎一般撮影と DXA 計測を同時に実施できます。検査台への乗降が簡便で、短時間の検査ですので、腰痛の方でも楽に検査が行えます。骨粗鬆症の診断や、その経過観察の際に算定できます。（4ヶ月に1回を限度）



「申し込み」から 「レポート返送」までの流れ

- ①申し込み様式を病院ホームページよりダウンロード
- ②地域医療連携室へ依頼
- ③検査後、画像およびレポートを郵送返送

ご利用は病院との契約が必要です。

お問い合わせは

☎TEL:089-990-1893 谷口専門職



特集・地域医療機関への訪問



今年度、地域医療機関への訪問を強化しています。訪問時には当院の診療科の強みや、今年度ご紹介を多くいただいている MRI/造影 MRI 検査など、当院と訪問先医療機関の有効な連携につなげることができるようご意見をいただいています。ご訪問させていただいた際には是非ともご意見をお聞かせください。



特集・地域イベントへの参加



当院では、地域とのつながりを大切に、地域医療の発展に貢献することを目的に各種地域イベントに積極的に参加しています。

10月は、「東温市健康フォーラム」「重症心身障害児（者）を守る会主催～媛つながるプロジェクト～」へ参加しました。

「東温市健康フォーラム」

当院は、地域医療機関や行政、住民の皆さまと協力し、地域全体での健康支援を目指しています。その一環として、10月に開催された「東温市健康フォーラム」で、呼吸器疾患予防のための『肺年齢を測ってみよう』を企画しました。呼吸器内科医師がスパイロメーターを使用し肺年齢測定を行い、参加された方は、日常生活では気づかない肺機能の変化について知る機会となったようで「肺の検査早めに行ってみます」等の感想が聞かれ、健康意識につながる機会となりました。



国立病院機構 愛媛医療センター

肺年齢を測ってみよう

先着30名まで

呼吸器内科医師が呼吸機能検査機器で肺年齢を測定します

- 呼吸機能検査機器/スパイロメーター
- 肺機能を年齢で例え「肺年齢」を測定します。
- 実年齢と比較して、見た目ではわからない肺の健康状態を知るヒントになります。
- 実年齢と大きく離れている場合は、肺の健康チェックをお勧めします！！

呼吸機能検査機器

無料のプレゼントもあります

国立病院機構 愛媛医療センター

